

商流ファイナンスに関するワークショップ

第1回「商流・金流結合の可能性を探る」

2013年7月10日

日本銀行 金融機構局

金融高度化センター長 米谷 達哉

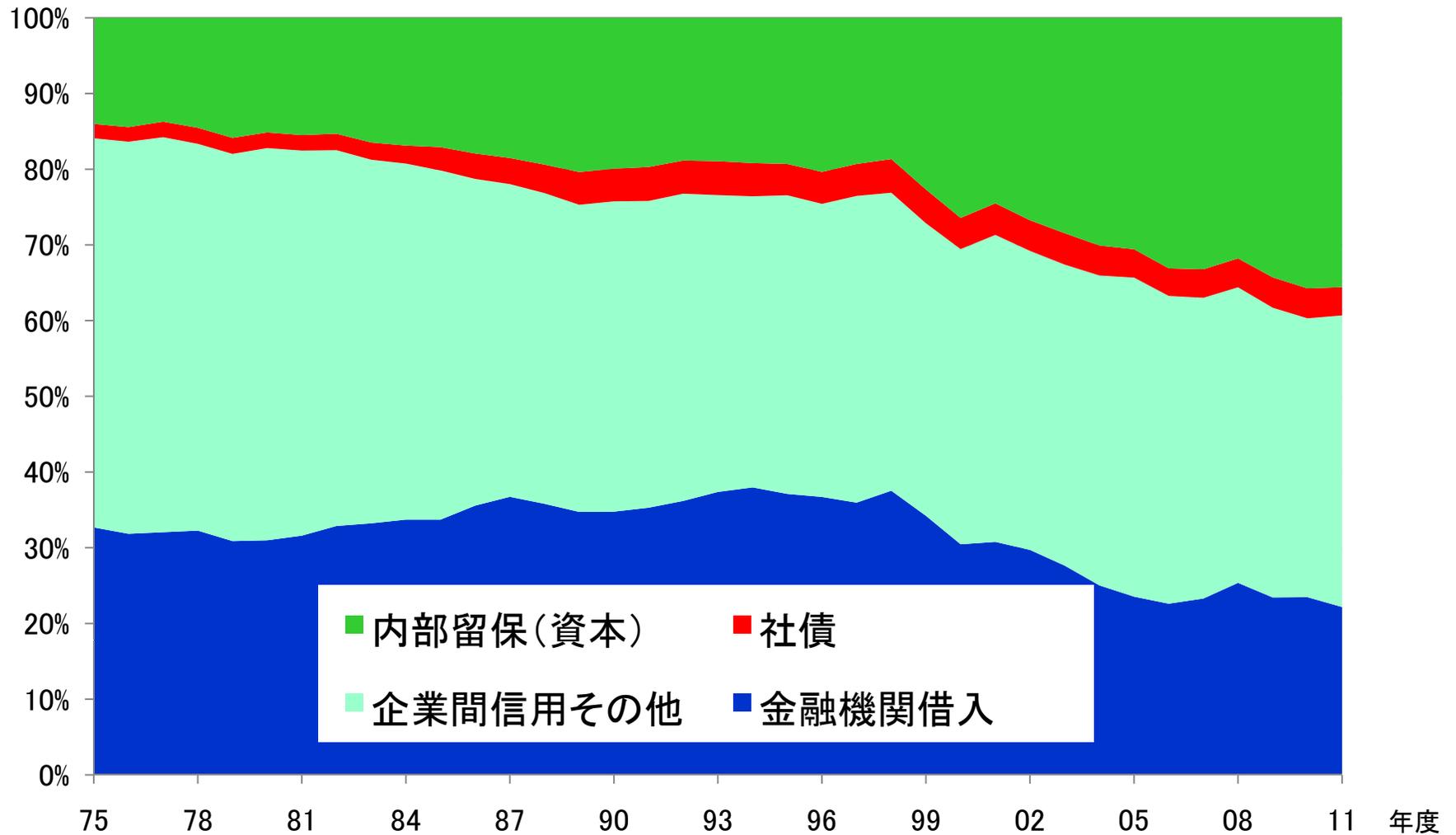


Bank of Japan



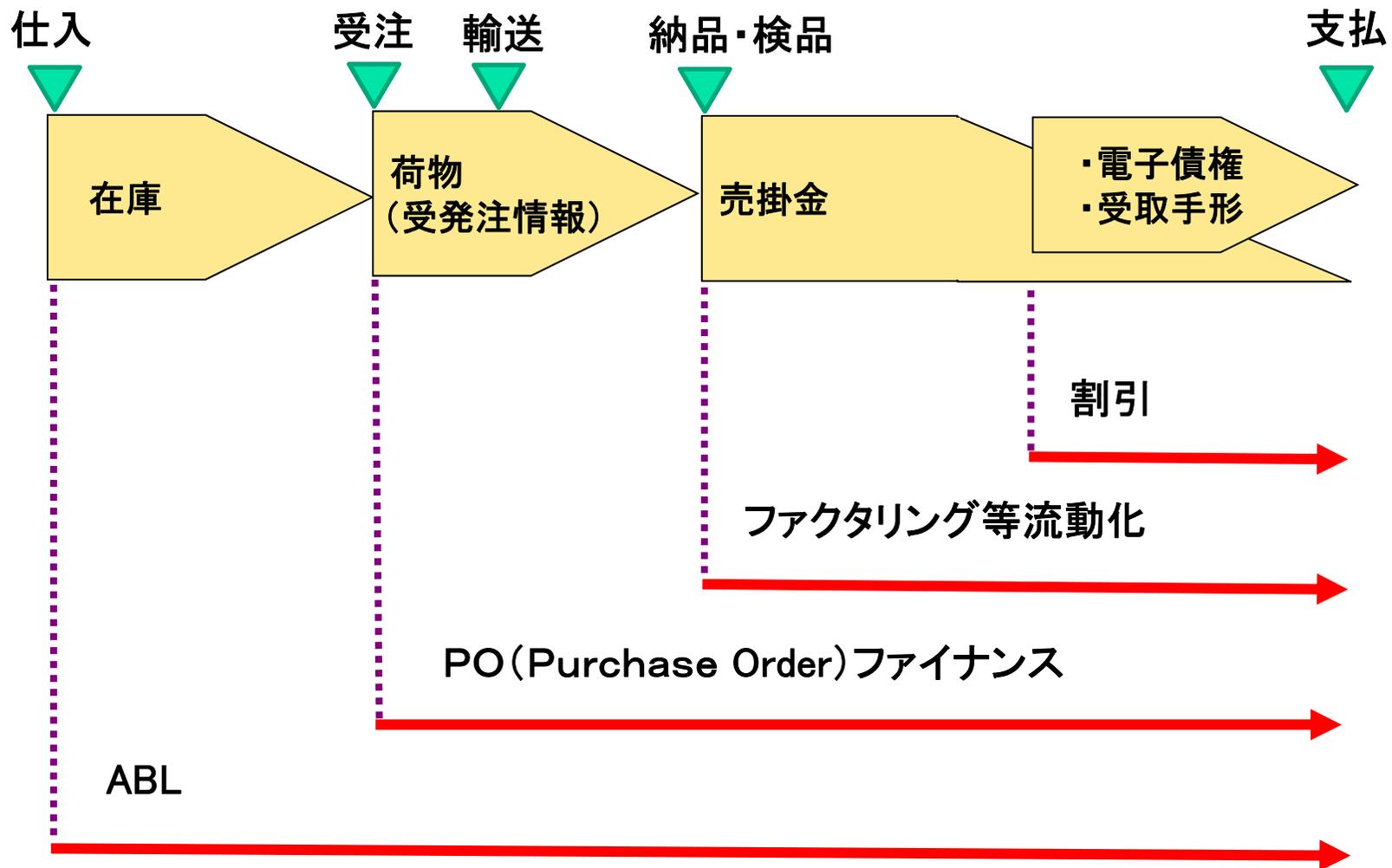
1. 企業の資金調達

(構成比)



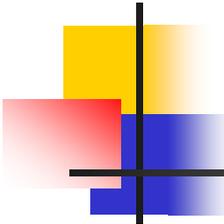
(出所) 財務省「法人企業統計年報」
全産業(除く金融業、保険業)の統計

2. ファイナンスの多様化



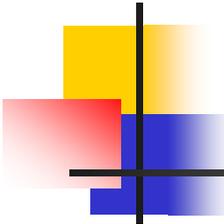
3. 企業融資の今後のあり得べき方向性

	従来の企業融資		今後の方向性
		課題	
情報の把握	静的情報把握 …財務諸表(B/S)	・粉飾の可能性 ・企業実態の変化に対する認識の遅れ	動的情報把握 …キャッシュ・フロー(入出金等)情報、ネットワーク(発注等)情報、在庫情報の活用
融資手法	格付に基づく融資	スコアリング手法の限界	ABL(売掛債権、在庫等のモニタリングにより、企業実態の変化を早期に把握する融資手法)等



4. 本ワークショップで取り上げたいテーマ

- 商流と金流の結合
例：金融EDIとでんさいネットのリンク
- 売掛債権を活用したファイナンス
例：信用評価と信用補完
- 電子記録債権を活用したファイナンス
- その他

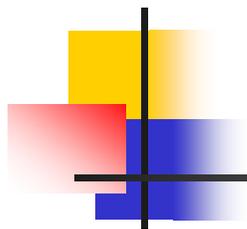


5. 本日のワークショップの狙い

「商流と金流の結合の可能性を探る」 金融EDIとでんさいネットのリンク

▽2012年4月24日「企業決済高度化研究会」報告書抜粋

「『でんさいネット』の電子記録債権は、その普及に向けた取り組みをこれから進めることとなるが、全銀協金融EDI標準による決済情報と商流情報の連携を図るうえで、(中略)...可能性のある仕組みを有していると考えられる」。



本資料に関する照会先

日本銀行金融機構局金融高度化センター

米谷 達哉 電話 03-3277-3775

email tatsuya.yonetani-5536@boj.or.jp

- 本資料の内容について、商用目的での転載・複製を行う場合は予め日本銀行金融機構局金融高度化センターまでご相談ください。転載・複製を行う場合は、出所を明記してください。
- 本資料に掲載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、日本銀行は、利用者が本資料の情報をを用いて行う一切の行為について、何ら責任を負うものではありません。